






GC療法クリニカルパス

患者用 氏名 _____ 様

	点滴施行前日まで	GC療法 1日目	GC療法 2日目	GC療法 3日目	GC療法 4～7日目
日付	/	/	/	/	/
観察	尿の量と性状をみます。				
		点滴を開始した日より1週間は特に注意して針を刺した部分とその周囲に変化がないか観察します。 点滴を開始してから出てきた吐き気、嘔吐、食欲不振、便秘、下痢、しゃっくりなどの症状を観察します。 感染しやすい状態になることがあります。のどの痛み、咳、口内炎、口腔内の違和感などを観察します。			
	昼・夕に検温をします。	朝・昼・夕に検温をします。 点滴が刺入部よりもれていないか観察します。 痛みや腫れなど少しの変化でも看護師にお知らせ下さい。		昼・夕に検温をします。	
安静	制限はありません。 	抗がん剤の点滴中は安静にして下さい。		制限はありません。	
食事	制限はありません。 				
清潔	入浴できます。	点滴中は身体を拭きます。		点滴終了後から入浴できます。 	
排泄	尿は蓄尿袋にためて下さい(退院まで毎日)。治療の影響で便秘になりやすい為、下剤を内服することがあります。 				
診察 処置	毎朝医師の回診があります。				
		医師が点滴を挿入します。		点滴が終わり次第点滴の針を抜きます。	
検査	24時間蓄尿をして検査を行います。 採血があります。			採血があります。	
薬物 療法		抗癌剤「ジェムザール」の点滴 を行います。 	抗癌剤「プラトシン(カルボプラ チン)」の点滴を行います。	点滴は日中で終了します。	出現する副作用の症状に 応じて薬が処方されます。
説明	入院生活の注意点を説明します。 点滴中の注意点を説明します。 医師より治療の説明があります。				
指導	薬剤師が持参薬の確認を行います。 入院中週に1回、薬剤師から点滴・内服薬の説明があります。食欲不振がみられる場合には栄養士が食事内容について相談に入ります。				
目標	入院中の生活が理解できる。 治療の内容が理解できる。 治療に向けて体調が整えられる。	安全に抗がん剤の点滴をはじ めることができる。 感染予防の必要性が理解でき、手洗いうがい、マスク装着、口腔内の観察などの予防行動ができる。	症状を医療者に伝えることができる。 治療が安全に達成でき、副作用が早期発見・対処され終了できる。		

* 症状によってはスケジュールどおりにはならない場合があります。